

県産あきたこまち 海津で今季初出荷

JAにしみの式典

西美濃農業協同組合（JAにしみの）は17日、県産米のトップを切って2021年産のあきたこまち約15トを出荷した。県内有数の米どころの海津市で初出荷

式があり、関係者が県産米をPRした。

同市内の稲刈りは、例年より2日ほど遅い今月11日に始まった。今後の雨の影響次第で作業が遅れる可能性があるが、出荷量は例年並みの約千トを期待しているという。

初出荷式は、同市海津町江東のJAにしみの海津集出荷センターで開かれた。

小林徹組合長は「早い梅雨入りや水不足などがあつたが、一等米として出荷できた。皆さんに食べてほしい」、JA全農岐阜の西村寿文県本部長は「新米の味と風味を堪能して」と話した。美濃加茂市出身のモデルで「ぎふの米メッセンジャー」を務める藤川瑠々さんのテープカットに続き、新米を載せたトラックを関係者が見送った。

18日から西濃地域のJAにしみのファーマーズマーケットで販売され、今月下旬に順次県内のスーパーなどに並ぶ。（小田香緒里）



テープカットで初出荷を祝う関係者
＝海津市海津町江東、JAにしみの
海津集出荷センター